

原発も戦争もノー

安倍政権倒そう
2万5000人

「さようなら原発 さよなら戦争 全国集会」が23日、東京の代々木公園で開かれ、2万5000人(主催者発表)が参加しました。会場近くの歩道橋の上にも人があふれました。

安保法反対と
原発を訴え

代々木公園に市民集結
安全保障関連法の反対や原発などを訴える集会が23日、東京都渋谷区の代々木公園で開かれ、参加者は「戦争反対も原発も命の問題」「安倍政権から民主主義を取り戻そう」などと訴えた。



安全保障関連法の反対などを訴える集会で、発言者に拍手を送る参加者。東京・代々木公園

若者と安保

SEALDs 奥田 愛基氏

「改憲派も怒っている」

この社会は「若者は無関心だ」「若者の政治離れだ」と、ずっと言ってきた。デモなんてやっても意味ない、市民なのに、主婦なのに、学生なのに、サラリーマンなのに。俺はそれに対して言ってる。やらない。「そういふことに意味がないんだ」って。そろそろ自分の頭で何か考えて言った方がいい。

戦争に行きたくないのは利己的だと言った議員がいたけれど、そうした発想が今の自民党にはあるのではないか。憲法学者がここまで怒っているのは、法案自体によほどの欠陥があるからだ。



改憲派の人も怒っているのを、自民党は自覚した方がいい。保守とか革新を超えている。今こそ「戦争反対」「憲法を守れ」と言わなければならぬ。

集会は、作家の大江健三郎さんらでつくる市民団体が主催、大勢の市民が野外ステージ前に詰め掛けた。主催者発表では、約2万5千人が参加した。

若者らでつくる団体「SEALDs(シールズ)」の中心メンバー、奥田愛基さんは「今こそ、『憲法を守れ』と言わなければならない」と声を張り上げた。法が成立した後でもメンバーに悲憤感はないという。

富山から 60人参加しました!!

- (自治労・教組・地鉄・全自交)
- (農協労・全港労・全農協・社民党)
- (全国一般(自治労))

26(土)、女性のレッドアクション
スタンディングアピール
13:00 富山マリエ前

10月5(月) 平和センター5役会議 18:00 自治労会館
21(水) 10.21 国際反戦day
集会とデモ予定
30(金) 平和センター定期総会

戦争法(安保法)の審議は
尽くされたのか?!

